

# 認知症の人がまちづくりの主人公

みんなであつなごう！

## 笑顔の輪！ ～あなたと私の「オレンジ夢リング」

ゆめ伴プロジェクト in 門真実行委員会事務局、門真市社会福祉協議会  
小裕 智誠

### 【団体の概要】

本団体は、「認知症になっても輝けるまち」の実現をめざし、認知症の人の「まだまだ働きたい」「やってみたい」などの声をきっかけに、皆でその夢をかなえるため、認知症の人や家族、市民団体、介護事業者、社協、行政など多様な団体で実行委員会を結成し、認知症の人が支援されるだけでなく、主人公となって活躍するカフェや畑、各種イベント等を展開し、地域の人と共に楽しむことで、さらに多様な人が応援者となり、地域に笑顔の輪を広げ、誰もが輝けるまちづくりへと実施してきた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大後は休止せざるおえない活動もあったが、認知症の人や高齢者のテレワークが実現し「夢かなえマスク」づくりや、折り鶴であつなごうと門真市全域で取り組んだ折り鶴プロジェクト、高校生との文通など6つの活動をコロナ禍で新たに実施した。

認知症の人がまちづくりの主人公

みんなであつなごう！ 笑顔の輪！～あなたと私の「オレンジ夢リング」～

### 【プログラムの目的】

三つ編みの一本一本にいろいろな想いが託された三色のゴムを通して、「支える側」「支えられる側」という関係性ではなく、認知症の人と市民が共に楽しみながら、多様な人々・多様な場所で共に作り、そこでの出会い（ご縁）「やさしい手の輪(わ)」、お互いを助け合う仲間「温かい心の和(わ)」、笑顔であつなごうる喜びの「笑(わ)」となり、認知症になっても社会の一員として役割をもつことができ、一人ひとりの思いやりから認知症への理解を深めることを目的としている。

### 【背景】

ある90歳の認知症の方が抱いていた「世話になるだけは嫌。何か役にたちたい。」という想いと、その想いに応えたいと寄り添う家族が、お二人で本プロジェクトが行う「ゆめ伴カフェ」に参加した際、飾り付け係りで手作りの3色の三つ編みアクセサリを飾ったことがきっかけとなった。1本でも2本でもできない、3本が交互にしっかりと編まれた三つ編みをブレスレット状にすればリングができる。認知症の人が主人公となり、本人の思いや

望みが伝わり、地域の人と協力して作ることで、作成する過程から相互に関わり、作る人や受け取った人など関わる全ての人々がまちづくりに参加することができる、「オレンジ夢リング」が誕生した。

#### 【参加者】

- ・ 認知症の人
- ・ 認知症の人に寄り添っている家族
- ・ 地域や年齢、在宅・施設を問わず、参加したい人

#### 【活動内容】

「三つ編みを編む」、「くるみボタンを作る」、「三つ編みとボタンをつなげる」、「いろんな想いが込められた三つ編みとメッセージを袋に入れる」などの工程を、施設や在宅の場においても社会参加できる「ステイホーム型地域活動」と、通いの場など「集い型地域活動」のなかで、一人ひとりが担い手として、それぞれの得意なこと、やりたい事が役割となつて一つの作品を作る。

#### 【成果】

認知症の人が社会参加する機会となり笑顔が生まれ、その笑顔に心を動かされた地域の人も、「また一緒に笑顔になりたい」と活動の担い手となり、三つ編みのようにつながりの連鎖が輪を広げている。初めはしり込みしていた人も、「楽しそう」「一緒にやってみようかな」と、自然と仲間が増え、施設に入居する方も「できることを見つけてもらった!」とお互いの喜びとなったという声をいただいている。自宅で暮らすある女性は日々できないことが増える自分と葛藤しているが、三編みをきれいに編んで、それを届けに行くことが喜びになっているとの声もある。認知症になつても社会の一員として共に楽しむことができるという事が参加者の声からも表れている。

そして、このリングを受け取った人は「すごい!」「こんなこともできるんや!」など認知症に対するネガティブな視点ではなく、認知症になつても地域活動に参加できるというポジティブな視点を伝えることができ、認知症の理解を前向きに深める活動となっている。



### 【所感】

これまでの認知症ケアは医療の Care（治療）、介護の Care（ケア）が中心で、認知症になると社会から孤立し希望を失いやすい現状であったが、認知症の人が支えられる側から地域をつなぐ一員として、認知症のあるなしに関係なく自発的な役割を持つことができ三つの「輪」「和」「笑」となることで 認知症の人と地域の人との C o m m u n i c a t i o n（つながり・交流）から、認知症の人への視点をポジティブなものに展開している。

### 【今後の予定】

この三編みのようにみんなで笑顔の「輪」を門真から広げ、認知症の人がまちづくりの主人公となるオレンジ夢リングを広げていきたい。

